



## ★ワールドカップ探訪 サッカーの次はラグビーだ！

ラグビーの由来は、試合中にサッカーボールを抱えた選手が出現した時から始まります。したがって、ラグビーW杯の歴史はまだ浅く、本大会の日程は、サッカーと五輪の世界大会に重ならない年(サッカーW杯の翌年、夏の五輪の前年)が選ばれました。

下表の通り、第1回目の大会を1987年に設定して、当初は予選無しで、ぶっつけ本番という形式でした。来年であれから早、9回目を数えるようになった日本大会。既に前回が終わった時点で、出場枠20か国のうち12の国がシード国としてエントリーされております。勿論、開催国である我が国もシード枠です。

残り8か国の枠を、各地域でのプレーオフを通じて選ばれます。ですから前評判の高いチームがあったとしても、激戦を勝ち抜いてきたチーム中には伏兵がおりますので、本大会で番狂わせも当然生じてくるでしょう。

前回大会で、日本チームがあのアフリカの覇者、南アフリカを撃破したことは「世紀の番狂わせ」と言わしめた程です。さて、今大会どんなドラマが演じられるでしょう…。サッカーの感動が、そのままラグビーへと移行してきそうですね。

### 【歴代大会成績】

回	年	開催国	優勝	準優勝	3位
8	2015	イングランド	ニュージーランド	豪州	南アフリカ
7	2011	ニュージーランド	ニュージーランド	フランス	豪州
6	2007	フランスほか	南アフリカ	イングランド	アルゼンチン
5	2003	豪州	イングランド	豪州	ニュージーランド
4	1999	ウェールズほか	豪州	フランス	南アフリカ
3	1995	南アフリカ	南アフリカ	ニュージーランド	フランス
2	1991	イングランドほか	豪州	イングランド	ニュージーランド
1	1987	NZ/豪州	ニュージーランド	フランス	ウェールズ

今月の

水戸まさし応援団

「同床異夢」

額に汗して駅頭で訴える水戸さんの姿があった。原発・エネルギー資源、財政・社会保障、格差・人材育成等次世代を見据えた政策についてメッセージを発信している。

通信業界とIT企業の間で、携帯電話・次世代通信をめぐる競争環境の変化により、合併による規模拡大が加速し、業界を超えた再編が進められている、という報道があった。

5月に民進党と希望の党が合流し国民民主党を結成した。「国民が主役の中道改革政党政」を掲げ、保守からリベラルまで間口をひろげた政治勢力の結集を図らねばならない。

したがって、今後は立憲民主党とも異なる意見を排除をすることなく、双方、合意に至る道を見出す寛容と包容力をもって関係性を深めてほしい。そして、自公政権のほころびが露見している今こそ、総合力を発揮し目に見える形での成果を示してほしいと思う。一方、政党の色に捉われず、地道な地域活動に精力的に取り組む水戸さんの姿は必ずしや、有権者の心に届くと思う。日々の積み重ねが必ず実ることを信じてエールを送り続けたい。

水戸まさし応援団

Mチーム 益田 正廣

#### ◆事務所

〒245-0008

横浜市泉区弥生台26-6

TEL: 045-814-3001 FAX: 045-814-3007

メール: kickoff310@gmail.com

◆HP: <https://www.kickoff310.com/>

◆Face Book: 「水戸将史」で検索

◆Twitter: @mito\_kickoff

◆メルマガ: 登録はHPから